

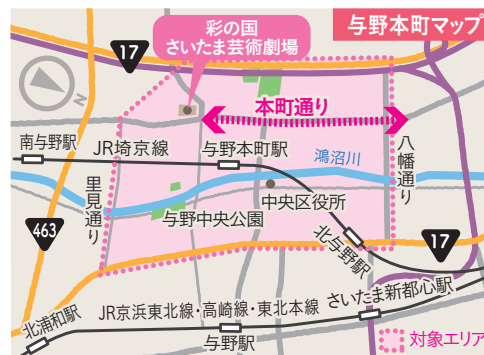
# 新たな時代を見据え 住民自ら取り組む まちづくり

住んでいるまちをさらに住みやすく、魅力あるものにして、地域住民主体の活動が様々な場所で始まっています。今回はまちづくりの検討が始まった「与野本町」と、検討が進んでいる「岩槻」の協議会の取組を紹介します。

## 与野本町 与野本町駅周辺地区 まちづくり推進協議会

与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープランに掲げる将来像「地域の資源とふれあい、多様な世代が集い、暮らし魅力的なまち」の実現に向け、平成28年度に与野本町駅周辺地区まちづくり推進協議会が設立され、同年度に、2つのリーディングプロジェクトの検討が分科会にて開始されました。

「歴史を伝える本町通りのまちづくり分科会」では、交通量が多い本町通りの現状確認や、蔵造りの街並みの歴史を学ぶなど、今後の整備に関する意見交換を行っています。「芸術劇場と地域が連携したまちづくり分科会」では、芸術劇場と地域、小・中学校が連携したイベントや、与野本町駅と芸術劇場を結ぶ空間を充実させるための方策などについて検討を進めています。平成29年度は、「中央区役所周辺をはじめとした3拠点の強化分科会」でも検討が開始されました。これらの分科会で取組を進めることにより、まちの将来像が実現できるものと期待されます。



※3拠点：中央区役所周辺、与野中央公園、与野本町駅周辺

### 「与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープラン」リーディングプロジェクト(イメージイラストと施策の方向性)



- 施策の方向性**
- 芸術劇場と地域とのつながりの強化
  - 地区外からの人々を呼び込む強化
  - 地域全体を舞台にした活動の展開



- 施策の方向性**
- 本町通りの歴史や魅力の保全・形成
  - 安心して歩ける環境の形成
  - 地区外の人々への情報発信

### 与野本町駅周辺地区まちづくり推進協議会のコ/レ/カ/ラ

子どもの頃、本町通りは桜並木の名残があり、定期的に市場が開催される場所でした。今は交通事情も変わりましたし、高齢で店をたたむ人が出てくる一方で、離れた場所には大きなマンションが建つようになりました。現在プロジェクトが動き始め、仕掛けをつくっているところですが、平成30年度はさらに具体的な部分まで詰めていきたいと思っています。今後は少子高齢化社会に向けて、車いすやベビーカーでも安全に通行できるように、電柱を地中化した広い歩道をつくるなど、誰もが安心して暮らせるまちにしていきたいですね。

与野本町駅周辺地区  
まちづくり推進協議会  
会長  
望月 三之 氏



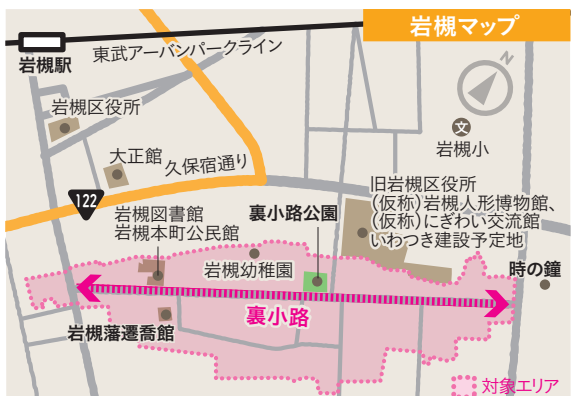
## 岩 槻 裏小路まちなみづくり 協議会

人形のまちとして知られる岩槻の中で、裏小路には1671年に岩槻城主阿部正春が設置した「時の鐘」(1720年改築)や、県内では唯一現存する藩校「岩槻藩遷喬館(せんきょうかん)」があり、「江戸時代の武家屋敷の歴史が感じられるまちなみが残っています。」

このまちなみについて考えるため、平成25年度から住民と市の協働で、まちづくりに関わる活動を開始し、平成28年2月には、住民等で構成された「裏小路まちなみづくり協議会」が設立され、継続的に活動を行っています。平成29年度は、まちなみの考え方を示す「裏小路まちなみづくりの指針」の策定に向け、対象エリアの方に対して住民説明会を実施するなど、協議会で意見交換等が進められています。指針には、落ち着いた雰囲気や統一感のあるまちなみを演出できるように、建築物や工作物の形態や意匠、色

など一定の配慮を示すほか、緑化や全体の色などについても盛り込まれる予定です。

今後、この指針を基に協議会が主体的に取り組む「まちなみづくり」と、市が主体で取り組む「みちづくり」を協働で進めていくことにより、裏小路らしいまちなみの実現ができるものと期待されます。



今後、この指針を基に協議会が主体的に取り組む「まちなみづくり」と、市が主体で取り組む「みちづくり」を協働で進めていくことにより、裏小路らしいまちなみの実現ができるものと期待されます。

### 今後のまちなみづくりのイメージ



立ち木や生垣等で植栽し、四季を楽しめるまちなみを演出

岩槻まつりでは風情ある行灯が立ち並びます

裏小路公園前の石畳敷の道路

### 裏小路まちなみづくり協議会のコ/レ/カ/ラ

私が子どもの頃の岩槻は武家屋敷が残り、まちの大人たちが子どもたちを分け隔てなく育てる、ゆったりとしたまちでした。そうした景色がだんだんと変わっていく危機感の中で、協議会ではまちの良さを残していくために様々な取組を行い裏小路は城下町の伝統が残る、風情ある街並みへと変わってきました。こうした活動が進む背景には、住民の方々の協力的な姿勢があるからだと思います。今後は人形博物館やにぎわい交流館などができ、多くの来訪者が期待されますが、安心・安全で文化的なまちなみをしっかりと残していきたいですね。

(仮称)岩槻人形博物館のイメージ



裏小路まちなみづくり  
協議会会長  
石川 公一 氏

